

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 10 | ご家族の意見を聞き入れるための機会を増やしており、気軽に声をかけていただける関係作りができてきているが、それを運営に反映させるのに時間がかかっている。また、ご本人とご家族の意見の違いを埋めることができていない場合がある。 | ご本人、ご家族の意見を取り入れ、ご本人の生活をより充実したものにしたい。また、折角戴いた意見に対し、どのように対応したかをお伝えできるようにしたい。 | ご本人の現状をご家族により詳細に報告し、どのような対応が最適かを相談することで理解を持っていただく。ご家族の意見に対し、期日を設定し対応方法や結果をお伝えできるよう設定してみる。 | 2ヶ月 |
| 2 | 6 | ご本人の希望する時間に希望する行動をとっていただける事ができない時がある。リスクを考えた行動が優先される場合がある。 | ご本人の生活において息苦しく思うことを省いていきたい。身体拘束の幅を広げて考え、拘束の無い生活を実現していきたい。 | 認知症介護と共同生活という場において、何を優先して生活を送っていただくかを委員会を中心に改めて考えていく。また、リスク回避に重きを置くご家族に対し、グループホームでの生活を理解していただく。 | 4ヶ月 |
| 3 | 33 | 重度化された場合の対応については入居の際に十分に説明しているが、その時に直面すると、ご家族との食い違いが生じることがある。大きな問題とまではいかないが、すれ違いが今までの良好な関係をこじらせてしまう場合がある。 | 重度化され、グループホームでの生活が困難になってきた場合であっても信頼していただけるような関係を作りたい。 | ご本人の状況や今後については必要な際に報告し相談しているが、より具体的な話を定期的にできるよう計画していきたい。ご家族に認知症や高齢に対する知識と理解を持っていただけるよう家族会等を通じて発信していく。 | 2ヶ月 |
| 4 | 47 | 何に対して薬が処方されているかは理解しているが、その薬がもたらす効果、副作用については完全には把握できていない。また、服薬の変更等により症状に変化がある場合でも処方期間を優先してしまうことがある。 | 処方薬については副作用などについても理解しておく。処方変更により症状に変化が出た場合は速やかに医師に相談できる体制を作る。 | 重要な副作用は理解しているが、そうでないものについても、知識を共有できるような仕組みを作る。症状に変化があった場合は薬の影響が大きい場合があるため、処方期間にかかわらず、担当医師に相談できるよう医療との連携を取っていきたい。 | 4ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。